

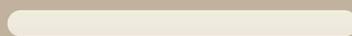
京都精華大学  
入試ガイド

2023

国際文化学部



メディア表現学部



芸術学部



デザイン学部



マンガ学部



人間環境デザインプログラム



KYOTO SEIKA UNIVERSITY  
ADMISSION SUMMARY 2023

はじめに

# このガイドについて

この冊子『京都精華大学入試ガイド 2023』は、本学の入試制度の概要を理解してもらうために作成しました。内容は下記の4つの章に分かれています。

## 入試制度

この章では 2023 年度に実施する入試の枠組みについて説明しています。学科ごとの募集人員、入試日程、受験型を一覧表で記載しています。

## 受験型

「受験型」とは試験科目のことです。この章では受験型ごとに出題内容や評価のポイントを記載しています。

## 出願

この章では出願資格や出願手続について説明しています。インターネット出願の詳細や、志望学科・コースの選択方法などについて説明しています。

## その他の情報

この章では入学金・学費、奨学金に関することや、2022 年度入試（2022 年 4 月入学）の入試結果などの情報を記載しています。

なお、この冊子『京都精華大学入試ガイド 2023』に記載した内容は 2022 年 3 月現在のもので、今後変更される場合がありますので、出願にあたっては 2022 年 7 月に発行予定の『京都精華大学入試要項 2023』を必ず確認してください。この冊子の記載の有無に関わらず、入試について分からないことがあれば、入学グループまでお問合せください。

京都精華大学入学グループ

# 目次

## はじめに

- 01 このガイドについて
- 02 目次

## 入試制度

- 03 入学者に求める力について
- 05 募集人員
- 07 2023 年度 入試日程
- 09 受験型一覧 国内学生 / 外国人留学生

## 受験型

- 11 体験授業型
- 19 プレゼンテーション型
- 20 面接型
- 21 オンライン方式の入試について
- 23 学力型
- 25 小論文型
- 26 大学入学共通テスト利用方式
- 27 実技型

## 出願

- 31 出願資格 国内学生 / 外国人留学生
- 33 インターネット出願について
- 34 マイページの登録
- 35 エントリー・出願方法

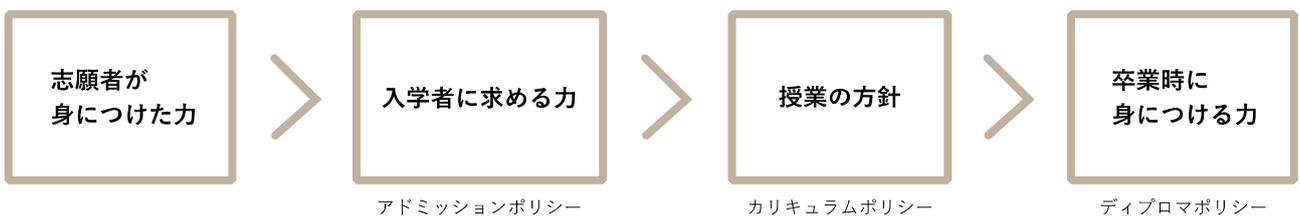
## その他の情報

- 37 入学金・学費
- 38 奨学金
- 39 2022 年度入試結果
- 41 京都精華大学へのアクセス
- 42 入試に関するお問合せ先

# 入学者に求める力について

京都精華大学は、人間を尊重し人間を大切にすることを教育の基本とし、学問・芸術によって人類社会に尽くそうとする自立した人間の形成を目的としています。この教育理念をもとに、卒業時に身につける力（ディプロマポリシー）、授業の方針（カリキュラムポリシー）、入学者に求める力（アドミッションポリシー）を設けています。

本学では多様な学生を募集するために、志願者がこれまでに身につけた力を、学力・技能・意欲などの様々な視点から評価する受験型を設けています。



## アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

本学ではアドミッションポリシーを下記の3つの領域として定めています。

受験型	領域1：知識・理解・技能	領域2：思考・判断・表現	領域3：関心・意欲・態度
受験型ごとに評価する領域を設定しています	①高等学校の教育課程における基礎学力・技能を有している。 ②入学後に発展可能な、作品制作に関する基礎知識や技能を有している。 ※芸術学部・デザイン学部・マンガ学部が対象	①身近な問題について、知識や情報をもとに道筋を立てて思考できる。 ②他者の意見を理解し、自分の考えをわかりやすく表現できる。	①新しい領域や多様な人々に対して先入観なく向き合い、生涯にわたって学習を継続する意欲がある。 ②学びたい学部・学科の知識や経験を社会で活かしたいという目的意識を持っている。
体験授業型	○	○	○
プレゼンテーション型	○	○	○
面接型	○	○	○
学力型	○	○	
小論文型	○	○	
実技型	○	○	
大学入学共通テスト利用方式	○	○	

## カリキュラムポリシー（教育課程編成の方針）

本学は、ディプロマポリシー（学位授与の方針）を達成するために、全学共通教育科目、学部専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を開講します。

### 教育内容

#### (1) 全学共通教育科目

全学共通教育科目は、各自の専門性を活かしつつ社会の中で自由な個人として生きる姿勢を培うため、様々な学問領域にわたる科目を配置します。具体的には、表現科目群、グローバル科目群、リベラルアーツ科目群に加え、導入プログラム、マイナー科目群、社会実践力育成プログラム、キャリア科目群から構成しています。

#### (2) 学部専門教育科目

学部専門教育科目は、学部共通科目と学科専門科目から構成されます。ともに、専門分野の基礎から専門的知識・技能や主体的に取り組む態度を修得し、それらを総合的に活用する力を養うため、体系的に科目を配置します。

### 教育方法

- (1) 学生の主体性を伸ばすため、能動的学修の視点を取り入れた教育方法を実施します。
- (2) 授業内・外の学修時間を考慮した授業内容を設計します。
- (3) 学修ポートフォリオの作成指導により、学生の自律的な学修を支援します。

### 学修成果の評価

本学では、学位授与の方針に掲げる能力・資質およびこれらの総合的な活用力の修得状況を、「学部・学科レベル」「科目レベル」の2つのレベルで把握し、評価します。

各レベルの評価の実施方法は、以下のとおりとします。

#### (1) 学部・学科レベル

学部・学科レベルの評価は、学部学科所定の教育課程における卒業要件達成状況、進級要件達成状況により行います。

#### (2) 科目レベル

科目レベルの評価は、シラバスで提示された科目の学修目標に対する評価により行います。

## ディプロマポリシー（学位授与の方針）

本学は、グローバルな観点から思考し、リベラルアーツに基づいてより良い社会を創る意欲を持ち多様な人々と協働し、世界の様々な課題に対する新しい価値を表現し、提供できる人間の形成を目指しています。学生は卒業時に次の5つの力を身につけていることによって学位が授与されます。

### 1. 知識と理解（knowledge & understanding）

広い視野から複眼的に考察するための知識と理解力

### 2. 創造的思考と考察（creative thinking & observation）

新しい文化と価値を発想するための創造的思考力

### 3. 技術と表現（skills & expression）

変化し続ける社会で専門領域の学びを生かすための応用力

### 4. 視点と協働（diverse perspective & collaboration）

地球規模の視点で社会課題に取り組むための協働力

### 5. 社会への関心と行動（interests & action）

より良い社会を創るための主体的な行動力

# 募集人員

2023年度の募集人員は下記の通りです。出願は募集単位（学科単位、コース単位、プログラム単位）で受け付けています。

- ・国際文化学部、メディア表現学部、芸術学部は学科単位で一括募集し、2年次から各専攻に所属します。
- ・デザイン学部、マンガ学部はコース単位で募集し、1年次から各コースに所属します。
- ・人間環境デザインプログラムはプログラム単位で募集し、1年次からプログラムに所属します。

学部	募集単位	学科またはコース		入学定員	
国際文化学部	学科単位	人文学科	2年次から 文学専攻 歴史専攻 社会専攻 日本文化専攻	160	
		グローバルスタディーズ学科	2年次から グローバル関係専攻 グローバル共生社会専攻 アフリカ・アジア文化専攻	90	
メディア表現学部	学科単位	メディア表現学科	2年次から メディア情報専攻 イメージ表現専攻 音楽表現専攻	168	
人間環境デザインプログラム	プログラム単位			16	
芸術学部	学科単位	造形学科	2年次から 洋画専攻 日本画専攻 立体造形専攻 陶芸専攻 テキスタイル専攻 版画専攻 映像専攻	112	
デザイン学部	コース単位	イラスト学科	イラストコース	64	
		ビジュアルデザイン学科	グラフィックデザインコース デジタルクリエイションコース	64	
		プロダクトデザイン学科	プロダクトコミュニケーションコース ライフクリエイションコース ファッションコース	72	
		建築学科	建築コース	40	
マンガ学部	コース単位	マンガ学科	カートゥーンコース ストーリーマンガコース 新世代マンガコース キャラクターデザインコース	232	
		アニメーション学科	アニメーションコース	80	
合計				1098	

入試種別											
総合型選抜		学校推薦型 選抜〔公募制〕	一般選抜			大学入学共通テスト利用			外国人留学生入試		海外帰国生徒 社会人等
1期	2期		1期	2期	3期	1期	2期	3期	1期	2期	
26	6	36	36	6	6	16			8	8	若干名
14	4	20	19	4	4	9			5	4	若干名
28	6	20	37	7	6	17			9	8	若干名
2	1	2	3	1	1	3			1	1	若干名
56	—	12	11	—	2	4	—		11	4	若干名
32	—	8	5	—	2	2	—		6	2	若干名
32	—	8	6	—	2	2	—		6	2	若干名
36	—	9	6	—	3	3	—		6	3	若干名
14	—	6	6	—	2	3	—		3	2	若干名
127	—	27	13	—	4	6	—		22	7	若干名
44	—	9	5	—	2	2	—		7	3	若干名
411	17	157	147	18	34	67			84	44	

# 2023 年度 入試日程

2022 年			
9 月	10 月	11 月	12 月
<b>総合型選抜 1 期</b> エントリー期間 体験授業 認定発表 9/1 (木) 9/18 (日) 9/28 (水) ~ 9/7 (水) 9/19 (月)			
	出願期間 9/28 (水) ~ 10/12 (水)	合格発表 11/1 (火)	
		<b>学校推薦型選抜 [公募制]</b> 出願期間 試験日 合格発表 11/1 (火) 11/12 (土) 12/1 (木) ~ 11/4 (金) 11/13 (日)	
		<b>総合型選抜 2 期</b> 出願期間 試験日 合格発表 11/25 (金) 12/11 (日) 12/21 (水) ~ 12/2 (金)	
	<b>外国人留学生入試 1 期</b> 出願期間 試験日 合格発表 10/3 (月) 11/12 (土) 12/1 (木) ~ 10/14 (金) 11/13 (日)		<b>外国人留学生入試 2 期</b> 出願期間 12/23 (金) ~ 1/6 (金)

2023 年

1 月

2 月

3 月

一般選抜 1 期

出願期間

1/10 (火)  
~ 1/18 (水)

試験日

2/4 (土) 2/17 (金)  
2/5 (日)  
2/6 (月)

合格発表

一般選抜 2 期

出願期間

2/10 (金)  
~ 2/17 (金)

試験日

2/24 (金)

合格発表

3/2 (木)

一般選抜 3 期

出願期間

2/24 (金)  
~ 3/3 (金)

試験日

3/11 (土)

合格発表

3/16 (木)

大学入学共通テスト利用入試 1 期

出願期間

1/10 (火)  
~ 1/18 (水)

合格発表

2/17 (金)

大学入学共通テスト利用入試 2 期

出願期間

2/10 (金)  
~ 2/17 (金)

合格発表

3/2 (木)

大学入学共通テスト利用入試 3 期

出願期間

2/24 (金)  
~ 3/3 (金)

合格発表

3/16 (木)

試験日

2/4 (土) 2/17 (金)  
2/5 (日)  
2/6 (月)

合格発表

# 受験型一覧

## 国内学生

入試種別	試験日	受験型	配点	国際文化	メディア表現	人間環境	芸術	デザイン	マンガ
総合型選抜 1 期	9/18 9/19	体験授業型 エントリー方式	事前提出課題 50 点 体験授業 200 点	○	○	○	○	○	○
学校推薦型選抜 [公募制]	11/12	面接型 オンライン方式	調査書 50 点 (評定平均値を 10 倍) 事前提出課題 40 点 面接 160 点	○	○	○	○	○	○
	11/13 午前	学力型 3 科目から 2 科目選択方式	調査書 50 点 (評定平均値を 10 倍) 学力 200 点 (1 科目 100 点 × 2)	○	○	○	○	○	○
		実技型 鉛筆デッサン	調査書 50 点 (評定平均値を 10 倍) 実技 200 点				○	○	○
	11/13 午後	小論文型	調査書 50 点 (評定平均値を 10 倍) 小論文 200 点	○	○	○	○	○	○
実技型 イメージ表現		調査書 50 点 (評定平均値を 10 倍) 実技 200 点				○	○	○	
総合型選抜 2 期	12/11	プレゼンテーション型 オンライン方式	事前提出課題 50 点 プレゼンテーション 200 点	○	○	○			
一般選抜 1 期	2/4	学力型 5 科目から 2 科目選択方式	200 点 (1 科目 100 点 × 2)	○	○	○	○	○	○
	2/5 午前	学力型 3 科目から 2 科目選択方式	200 点 (1 科目 100 点 × 2)	○	○	○			
		実技型 鉛筆デッサン	200 点				○	○	○
	2/5 午後	小論文型	200 点	○	○	○			
		実技型 イメージ表現	200 点				○	○	○
2/6	面接型 オンライン方式	事前提出課題 40 点 面接 160 点	○	○	○	○	○	○	
一般選抜 2 期	2/24	学力型 3 科目から 2 科目選択方式	200 点 (1 科目 100 点 × 2)	○	○	○			
一般選抜 3 期	3/11	面接型 オンライン方式	事前提出課題 40 点 面接 160 点	○	○	○	○	○	○
大学入学共通テスト 利用入試	1 期	大学入学共通テスト 利用方式	高得点の 2 教科・2 科目 200 点 (1 科目 100 点 × 2)	○	○	○	○	○	○
	2 期			○	○	○			
	3 期			○	○	○			

※評定平均値：調査書の「全体の学習成績の状況」

## 外国人留学生

在留資格	入試種別	試験日	受験型	配点	国際文化	メディア表現	人間環境デザイン	芸術	デザイン	マンガ
すべての外国人留学生が出願できる入試	総合型選抜 1 期	9/18 9/19	体験授業型 エントリー方式	事前提出課題 50 点 体験授業 200 点	○	○	○	○	○	○
	外国人留学生 入試 1 期	11/12	面接型 オンライン方式	事前提出課題 40 点 面接 160 点	○	○	○	○	○	○
		11/13 午前	学力型 3 科目から 2 科目選択方式	200 点 (1 科目 100 点 × 2)	○	○	○	○	○	○
			実技型 鉛筆デッサン	200 点				○	○	○
		11/13 午後	小論文型	200 点	○	○	○	○	○	○
	実技型 イメージ表現		200 点				○	○	○	
	総合型選抜 2 期	12/11	プレゼンテーション型 オンライン方式	事前提出課題 50 点 プレゼンテーション 200 点	○	○	○			
出願時点で「留学」の在留資格を持つ者のみ出願できる入試	外国人留学生 入試 2 期	2/4	学力型 5 科目から 2 科目選択方式	200 点 (1 科目 100 点 × 2)	○	○	○	○	○	○
		2/5 午前	学力型 3 科目から 2 科目選択方式	200 点 (1 科目 100 点 × 2)	○	○	○			
			実技型 鉛筆デッサン	200 点				○	○	○
		2/5 午後	小論文型	200 点	○	○	○			
			実技型 イメージ表現	200 点				○	○	○
	2/6	面接型 オンライン方式	事前提出課題 40 点 面接 160 点	○	○	○	○	○	○	
	一般選抜 2 期	2/24	学力型 3 科目から 2 科目選択方式	200 点 (1 科目 100 点 × 2)	○	○	○			
	一般選抜 3 期	3/11	面接型 オンライン方式	事前提出課題 40 点 面接 160 点	○	○	○	○	○	○
	大学入学共通テスト 利用入試	1 期	大学入学共通テスト 利用方式	高得点の 2 教科・2 科目 200 点 (1 科目 100 点 × 2)	○	○	○	○	○	○
		2 期			○	○	○			
3 期		○			○	○				

# 体験授業型 エントリー方式

体験授業型エントリー方式は、大学で実施する体験授業に参加する試験です。教員のレクチャーを聴き、制作やレポートなどの課題に取り組んでもらいます。体験授業の内容と評価のポイントは、P13～18に記載していますので、志望する学科・コースの内容をよく確認して準備をしてください。

### この受験型を選択できる学部

国際文化	メディア表現	人間環境 学デザイン	芸術	デザイン	マンガ
○	○	○	○	○	○

### この受験型を選択できる入試種別

総合1期	総合2期	学校推薦	一般1期	一般2期	一般3期	共通テ	留学1期	留学2期
○								

### 志願者に求める力

知識・理解・技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
○	○	○

## エントリー方式について

エントリー方式とは、評価をする大学側だけでなく、受験をするみなさんも体験授業を通じて、自分にあった大学かどうかを確認するための機会であることを目的としています。大学は体験授業の後、出願の可否について通知をします。出願認定「可」となった場合は、受験者自身で出願するかどうかを決めることができます。したがって、体験授業の参加までは他大学との併願が可能となります。出願認定が「可」となって出願をする場合は、本学へ必ず入学することを確約（専願といえます）できる場合に限り出願をしてください。



## 体験授業当日の流れ

- 実施日 **2022年9月18日（日）・19日（月）**
- 試験時間 12:30 集合 13:00～17:30 体験授業（休憩時間を含む）
- 持参物 各学科・コースで指定されたものを持参してください。詳しくはP13～18を確認してください。
- 服装 服装は自由です。上履きは不要です。

## 参加日の選択について

体験授業は1日で行われます。志望学科・コースが1つの場合、いずれか1日の参加となり、志望学科・コースが2つの場合（併願する場合）は2日間の参加となります。実施日は2日間設けていますが、2日間の内容は同じです。なお、評価する上で両日の参加人数を適切にするため、エントリー後に参加日を本学が指定する場合があります。参加日の選択については、2022年7月に発行予定の『京都精華大学入試要項2023』を確認してください。

## 出題内容

<p><b>自己推薦書 (事前提出)</b></p>	<p>あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を 800 字程度（上限 1200 字）で記述してください。</p>		<p>配点：50 点</p>
<p><b>学びの計画書 (事前提出)</b></p>	<p><b>国際文化学部</b></p>	<p>あなたは国際文化学部でどのようなことが学びたいですか。その理由とともに述べてください。また、大学で学んだことはどのようにあなたの将来につながるか、自由に考えて、800 字～1200 字で記述してください。その際、本学ウェブサイトの学部紹介ページ (<a href="https://www.kyoto-seika.ac.jp/edu/culture/">https://www.kyoto-seika.ac.jp/edu/culture/</a>) に目を通してください。</p>	
	<p><b>メディア表現学部</b></p>	<p>あなたの志望する学科・コースで、在学中に学びたいことやチャレンジしたいことについて、その内容と理由について、800 字程度（上限 1200 字）で記述してください。</p>	
	<p><b>人間環境デザインプログラム</b></p>		
	<p><b>芸術学部</b></p>		
	<p><b>デザイン学部</b></p>	<p>あなたが志望するコースを受験しようと思った「きっかけ」となった作品または作家について、どこに惹かれたかを述べた上で、それを踏まえて、大学 4 年間で何を学びたいのかを 800 字～1200 字で記述してください。 ※作品・作家は複数でも構いません</p>	
<p><b>体験授業</b></p>	<p>学科・コースごとの体験授業に参加し、与えられた課題に取り組んでください。体験授業の時間は 4 時間半（休憩時間を含む）です。体験授業の内容は P13～18 に記載しています。</p>		<p>配点：200 点</p>

## 評価のポイント

自己推薦書、学びの計画書の内容、体験授業の結果から総合的に評価をします。体験授業における評価のポイントは学科・コースごとに設けていますので、P13～18を確認してください。

## 併願について

この受験型では、志望学科・コースを 2 つまで併願することができます。その場合は、それぞれの志望先に対して「学びの計画書」を提出し、体験授業に参加してください。なお、同じコースの体験授業に 2 日間参加することは出来ません。

国際文化学部 人文学科		体験授業で取り組むこと		グループワーク	レポート	レクチャー	
<b>テーマ・内容</b> <b>グローバルな視点から日本を掘り下げてみよう</b> 人文学科では、1年次にはグローバルな視野のもとで自文化について理解を深め、2年次からは「文学」「歴史」「社会」「日本文化」の四つの専攻に分かれてより専門的に学ぶことで、自分の問題意識を深めていきます。この体験授業ではまず、共通テーマについて四専攻全てのレクチャーを受け、人文学の学びの多様さ、幅広さを体感してもらいます。その後、他の参加者との意見交換を行い、さらに視点を広げるとともに自分の興味・関心をより高めていきます。最後に、レクチャーと意見の共有を通じて考えたことをレポートにまとめます。学び、考え、そして他者に向けて発信するという人文学科での学びのプロセス全体を体験する授業です。		<b>評価のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レクチャーの内容を理解しようとしているか</li> <li>・レクチャーやその後の意見交換を通じて、他者の意見を参考にしながら自分の意見を練り上げ、それを丁寧にわかりやすく他者に伝えようとしているか</li> <li>・知識の多さではなく、他者の意見も柔軟に取り入れ、より深く学ぼうとする意欲と能力があるか</li> </ul>					
<b>持参物</b> 筆記用具（鉛筆やシャープペンシル、消しゴム）、鉛筆削り（小型のもの、鉛筆使用者のみ）、メモを取るためのノート。							

国際文化学部 グローバルスタディーズ学科		体験授業で取り組むこと		グループワーク	レポート	レクチャー	
<b>テーマ・内容</b> <b>フィールドワークから他者を知る</b> グローバルスタディーズ学科では、4年間の間に少なくとも2度の海外フィールドワークを行います。フィールドワークは「旅行」とは大きく異なります。本や映像を通して知った社会の中に入り込み、同じ生活空間を共有することで、他者の生活を体験し、書物や映像からだけでは知りえない地域や社会を知り、理解することをめざします。体験授業では、まず、「フィールドワークの方法」と「グローバル関係」、「グローバル共生」、「アフリカ・アジア文化」についての小レクチャーを受けます。その後、いくつかのグループに分かれて教員たちに対してインタビューをしてもらいます。レクチャー、インタビューを通して得た情報をもとに、グループに分かれてディスカッションを行い、最後に自分の考えをレポートにまとめます。この授業は、こうしたフィールドワークを通じた学びのプロセスを体験するものです。		<b>評価のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レクチャーを通じて得た知識をもとに、より深い問いを見つけ出すことができるか</li> <li>・意見交換を通じて他の参加者の意見を参考にしながら自分の意見を練り上げ、それをわかりやすく他の人に伝えようとしているか</li> <li>・知識の多さではなく、話を聞く力、問いを見つける力、人に伝える力があるか</li> </ul>					
<b>持参物</b> 筆記用具（鉛筆やシャープペンシル、消しゴム）、鉛筆削り（小型のもの、鉛筆使用者のみ）、メモを取るためのノート。							

メディア表現学部 メディア表現学科		体験授業で取り組むこと		グループワーク	レクチャー
<b>テーマ・内容</b> <b>コンテンツ配信の企画を通して、メディアの活用、情報の伝達、問題解決を学ぼう</b> メディア表現学部では、理系・文系という括りを超えて、社会や表現に関する問題の発見・解決に必要な情報の整理、意思決定の方法、コンテンツ制作やサービス開発を学びます。この体験授業では、コンテンツ配信など、具体的事例について考えることで、そのための基礎となる「情報の整理、意思決定、モデル化、可視化」を行います。体験授業は、内容に関するレクチャー、グループによる問題の発見・解決、個人による問題の発見・解決の3部構成になっています。 教員から課題についてアドバイスを受けたり、みなさんの入学後の夢や希望について質問したりする機会もあります。参加にあたっては、専門的な知識などは必要ありません。この体験授業を通じて入学後の学びを理解しましょう。		<b>評価のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レクチャーの要点を適切に手元のノート等に記録できているか</li> <li>・グループワーク、個人ワークのそれぞれについて、与えられた条件等の情報整理ができているか</li> <li>・整理された情報から意思決定に至るまでのプロセスが記述できているか</li> <li>・解決策に至る方法が独創的かつ実用的で、他の人に分かりやすくモデル化および可視化されているか</li> <li>・グループワークでは他の人とコミュニケーションが取れているかリーダーシップを発揮しているか解決に向けて寄与しているか</li> </ul>			
<b>持参物</b> 筆記用具（鉛筆やシャープペンシル、消しゴム）、鉛筆削り（小型のもの、鉛筆使用者のみ）、15cm程度のものさし、メモを取るためのノート。					

## テーマ・内容

## 京都の市街地の空き家（京町家）の有効活用を考えよう

京都中心市街地では京町家が空き家のままで売却され解体されたり、減少しています。これは社会全体の消費傾向の変化や少子高齢化による人口減少等に原因があると考えられます。一方で京町家は景観財として内外で高く評価され、飲食店や宿泊施設等に活用される例も多く見られます。しかし、新しい所有者が地域社会とのつながりが薄く、地域コミュニティの弱体化とつながっています。そこで空き家が地域社会にとってどのような有効活用方法があり、その新しく生まれる「空間＝場」に地域の皆さんがどのようにかかわるのかを考えてみましょう。具体的に、高齢者サービス施設、地域図書館、こども食堂、児童館などへの変容の企画を考え、プレゼンテーションを行います。

## 評価のポイント

- ・提案にあたって既存の環境資産を総合的に検討することができたか
- ・自分が考えた提案内容を他の参加者にわかりやすく伝えることができたか
- ・他の参加者の企画内容を理解する姿勢を持ったか

## 持参物

筆記用具（鉛筆やシャープペンシル、消しゴム）、メモを取るためのノート。それ以外の用具・材料などは本学で用意します。

## テーマ・内容

## 「作る自分に出会うこと」立体作品と平面作品の制作を行います

芸術の基礎的な制作手法で作品を制作します。好奇心、探究心を発揮して、潜在的な創造力を引き出すことに挑戦します。

- (1) 与えられたモチーフをよく観察して粘土で立体作品を制作
- (2) 制作した立体作品をもとに、鉛筆、コンテを使って描写
- (3) 制作した作品について簡単に制作意図を説明

対象を捉える2つの方法を体験して、あなたの感性と可能性を探りましょう。教員からのアドバイスを受けながら作品を創造するプロセスを学びましょう。完成した作品を介して自分の考えや感情を相手に伝えること、作品を鑑賞して相手を理解することを体験します。美術の経験がなくても意欲があれば積極的にチャレンジしてください。

## 評価のポイント

- ・新しい領域や多様な表現に対して意欲的に取り組んでいるか
- ・創作することに強い関心と興味を持つことができるか
- ・他者の表現や作品を理解できるか

## 持参物

使い慣れたデッサン用具 なければHB～6Bの鉛筆を各数本、消しゴム（練り消しゴム含む）、メモを取るためのノート、タオル、体操着、作業着やエプロンなど汚れてもよい服装。更衣室は用意します。

## テーマ・内容

## ことばからのイラスト ～あたえられた「ことば」からイメージしてイラストを描こう！～

与えられた「ことば」から、自由にイメージを膨らませてイラストを描きます。

- ・レクチャー：制作するためのポイントやアドバイスを行います。
- ・実制作：A4サイズの画用紙に描きます。
- ・作品講評：教員が仕上がったイラストについて講評します。

## 評価のポイント

- ・描画力
- ・想像力
- ・構成力
- ・取り組む姿勢

## 持参物

色材用具（アクリルガッシュ、ポスターカラーなどの水溶性絵具、筆、筆洗、パレット、色鉛筆、サインペン、マーカーなど）。鉛筆やシャープペンシル、鉛筆削り（小型のもの、鉛筆使用者のみ）、消しゴム（練り消しゴム含む）、メモを取るためのノート、画板（カルトン）。

デザイン学部 グラフィックデザインコース		体験授業で取り組むこと		制作	レクチャー	企画設計	発表・プレゼン
<b>テーマ・内容</b> <b>オリジナルの「グラフィック・バッグ」をデザインします</b> グラフィックデザインとは、情報やメッセージに視覚的な「デザイン」を加えることで豊かな表現となり、人々の心に響くよう可視化されていくプロセスをいいます。この授業では最初に、自由奔放なライブドローイングを体験します。自分自身を解き放ち、みなさんの資質や個性を思う存分発揮させてアートしましょう。次にその作品をデジカメで撮影、パソコンにて文字情報と合わせてレイアウトした後、プリンターで出力しトートバッグに転写します。自らを解放する体験を楽しみながら、「造形（素材）→構成（デザイン）→展開（発信）」というグラフィックデザインのプロセスとエッセンスを学びます。				<b>評価のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品</li> <li>・制作姿勢</li> <li>・教員とのコミュニケーション</li> <li>・プレゼンテーション</li> </ul>			
<b>持参物</b> 筆記用具（鉛筆やシャープペンシル、消しゴム）、メモを取るためのノート。体操着や作業着など、汚れてもよい動きやすい服装。更衣室、制作に必要な用具・材料などは本学で用意します。							

デザイン学部 デジタルクリエイションコース		体験授業で取り組むこと		制作	レクチャー	発表・プレゼン	
<b>テーマ・内容</b> <b>メッセージスタンプをデザインしよう！</b> LINE や Facebook などの SNS で使われる「メッセージスタンプをデザインする」体験授業です。最初にみなさんの地元の特徴を活かしたオリジナルキャラクターを制作します。その後、そのキャラクターを喜怒哀楽などにバリエーション展開し、メッセージスタンプとしてデザインします。最後にデザインしたスタンプをプレゼンテーションし、アイデアを参加者で共有します。ゲームやアプリ、ムービーやインターネットサービス、VR などのデジタル技術を使って、人とコミュニケーションすることに興味がある人に向けた体験授業です。				<b>評価のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制作する作品の内容</li> <li>・他者とのコミュニケーションの取り方</li> <li>・熱意をもって丁寧に取り組んでいるか</li> </ul>			
<b>持参物</b> 筆記用具（鉛筆やシャープペンシル、消しゴム）、メモを取るためのノート。スタンプをデザインするために必要な用具・材料などは本学で用意します。							

デザイン学部 プロダクトコミュニケーションコース		体験授業で取り組むこと		課題解決	企画設計	発表・プレゼン	
<b>テーマ・内容</b> <b>これからの社会に向けて未来の暮らしを想像、創造しよう</b> 近年、様々な技術の発達により私たちの社会や暮らしは急速に変化しています。技術は日々進化しています。しかし、そうした技術の進化に対してそれをどの様に活用すべきなのかという事が追いついていないのが実情です。この技術をどう使えばもっと便利、快適、素敵な社会や生活を実現する事ができるか？それを考えるのもプロダクトデザイナーの腕の見せ所です。体験授業では提示されたテーマに対して、いつ、どんな人が、どんな場所で、どのように使うのか？様々な視点から仮説を立ててもらいます。これからの我々のより良い暮らしや社会生活にどんな知恵や用途・機能がいったら良いのかを打ち出してください。一つの疑問や仮説から生み出す「未来をデザインする事」を体験しましょう。				<b>評価のポイント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提示されたテーマから問題点や未来像を実感することができたか</li> <li>・そこから柔軟にアイデアの展開を充分に行うことができたか。アイデア量が重要です</li> <li>・アイデアから魅力的かつ説得力のある提案にまで持っていくことができたか</li> <li>・自分の提案を他者に伝えることができたか</li> <li>・何より誰かや、自分自身が幸せになる提案ができたか</li> </ul>			
<b>持参物</b> 筆記用具（鉛筆やシャープペンシル、消しゴム）、メモを取るためのノート。							

<b>デザイン学部 ライフクリエイションコース</b>	体験授業で取り組むこと <b>制作</b> <b>発表・プレゼン</b>
<p><b>テーマ・内容</b></p> <p><b>京菓子のパッケージをデザインしよう</b></p> <p>文化と伝統が息づく京都で、長い時を経て完成された繊細な芸術品、京菓子。その京菓子を、さらに魅力的に見せるためのパッケージをデザインしましょう。菓子の特長、生まれた背景や歴史、食べる人や場面を想定し、パッケージの形を検討していきます。もちろんネーミング（商品名）も考えて、イラストや色、文字も構成しましょう。一枚の紙（平面）からパッケージ（立体）を作る工程を通して、コース教育の特長である「平面から立体をつなぐデザイン」を体験します。あなたのデザインするパッケージが、モノの魅力を最大限に引き出し際立たせることで人々の暮らしを豊かに変えていく。そんな楽しみを発見する授業です。</p>	<p><b>評価のポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりのアイデアを展開できたか</li> <li>・パッケージに求められる要素（保護、装飾、広告）を理解できたか</li> <li>・意欲的に取り組むことができたか</li> <li>・自分のアイデアをわかりやすく伝えることができたか</li> <li>・デザインによって生活を豊かにすることの楽しみを発見できたか</li> </ul>
<p><b>持参物</b></p> <p>筆記用具（鉛筆やシャープペンシル、消しゴム）、メモを取るためのノート。それ以外の用具・材料などは本学で用意します。</p>	

<b>デザイン学部 ファッションコース</b>	体験授業で取り組むこと <b>企画設計</b> <b>発表・プレゼン</b>
<p><b>テーマ・内容</b></p> <p><b>自分の気になる服をきっかけに、新しい服をデザインしてみよう</b></p> <p>この授業では、自分が持ってきた服を出発点にして、以下の流れで服をデザインします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 自分が持ってきた服がどのようなもので、なぜそれが気に入っているのかななどを他の受講生の前で発表し、他の受講者からの意見や質問をもらうことでその服に対する理解を深めてもらいます。</li> <li>(2) その服を出発点にして、新しい服をデザインします。「出発点にする」というのがわかりにくいかもしれませんが、「もっとこうだったらいいのにな」と思う点を改良するのでも、その服にあわせるアイテムを考えるのでも、あるいは他の方法でも構いません。</li> <li>(3) どのような服を作りたいのか考えてゴールを設定し、それに必要なリサーチを行い、さまざまな情報を整理し、教員と相談しながら具体的な形や機能に落とし込みます。</li> <li>(4) 完成した服について発表をします。</li> </ol> <p>この課題を通じて、デザインをどのように行うのか理解してもらいたいと考えています。</p>	<p><b>評価のポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の考えを伝え、他者の意見を理解する「コミュニケーション力」</li> <li>・自分の興味や関心を分析して言語化する「思考力」</li> <li>・必要な情報を見つけてまとめる「情報整理力」</li> <li>・なにかを起点に発想を展開する「表現力」</li> </ul>
<p><b>持参物</b></p> <p>筆記用具（鉛筆やシャープペンシル、消しゴム）、メモを取るためのノート、着彩用具。課題の出発点にしたい服を一着以上持参してください。お気に入りの服でも、思い入れのある服でも、気になる服でも、どんなものでも構いません。できれば現物が望ましいですが、写真などでも構いません。</p>	

<b>デザイン学部 建築コース</b>	体験授業で取り組むこと <b>制作</b> <b>レクチャー</b> <b>企画設計</b> <b>発表・プレゼン</b>
<p><b>テーマ・内容</b></p> <p><b>学生会館の有効活用プロジェクト</b></p> <p>大学敷地内にある学生のための施設は、講演会などを開催できる大ホール、美術館のような大きな展示空間、異文化交流のためのラウンジや多国籍料理を提供するカフェ、自習するための空間、演劇や音楽演奏を発表する空間や台所などが設けられ、学生活動の中心的な場所です。外部には階の異なるテラスがあり、それらは地上と階段で結ばれ自由に行き来することができます。内部空間だけでなく外部空間を上手に活用することで、より魅力的な学生の居場所になりそうな場所です。そこで、学生会館の外部テラスの有効活用について考えてみましょう。現地を観察し、誰が、いつ、どのように使えると楽しく時間を過ごすことができるのか、その場所の特徴を活かしながら具体的にイメージしてデザインしてみます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題についてのミニ講義（20分）、現地の自由視察時間（30分）</li> <li>・各自アイデアの意見交換（50分）</li> <li>・各自アイデアの具体的な外部空間のデザイン作業（60分）</li> <li>・各自アイデアの発表と意見交換（90分）</li> <li>・まとめと振り返り（20分）</li> </ul>	<p><b>評価のポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すでにある物理的な環境を、人々が過ごす場所として、新しく総合的にデザインする過程を楽しむことができたか</li> <li>・自分が考えた提案内容を相手にわかりやすく伝えようとしたか</li> <li>・他の参加者の提案を理解しようとする姿勢を持っていたか</li> </ul>
<p><b>持参物</b></p> <p>筆記用具（鉛筆やシャープペンシル、消しゴム）、メモを取るためのノート。それ以外の用具・材料などは本学で用意します。</p>	

マンガ学部 カートゥーンコース	体験授業で取り組むこと <b>制作</b> <b>レクチャー</b>
<p><b>テーマ・内容</b></p> <p>与えられた言葉からイメージする1枚の絵を個性ある発想と表現で完成させる。</p> <p>カートゥーンコースといえば「動物園でのデッサン」や「夏休みの宿題クロッキー 500 枚」を思い浮かべる人が多いと思います。オープンキャンパスでもそれらについてよく質問されます。それではなぜそれらが必要なのか、そもそもカートゥーンとは何なのかについて先ず簡単な講義をします。それから各々、テーマに沿って制作を始めていきます。基本的に大学での学びは自主性がひとつのポイントになります。制作中はこちらからも気になったことなど、それぞれの個性を見ながら声をかけアドバイスをしていますが、自らも迷ったり、分からないことがあれば積極的に教員とコミュニケーションをとってください。制作後、講評会をする予定です。</p>	<p><b>評価のポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 独創性のある発想と作画</li> <li>・ 積極的コミュニケーション力</li> <li>・ 画材を扱うテクニック</li> <li>・ 作品の完成度</li> </ul>
<p><b>持参物</b></p> <p>水性絵具（マーカー、サインペン、水性性も含み色鉛筆は不可）、絵具用具（筆、筆洗、パレットなど）、アイデアスケッチ用紙、下描き用筆記用具（鉛筆、消しゴム等）、メモを取るためのノート。</p>	

マンガ学部 ストーリーマンガコース	体験授業で取り組むこと <b>制作</b> <b>レクチャー</b>
<p><b>テーマ・内容</b></p> <p>マンガ制作実習 ～ストーリーマンガの基本～</p> <p>普段授業で行っている「教員から丁寧なアドバイスを受けながら」作品を制作する形で、日本の出版マンガの基本とストーリー作りを学びます。体験授業では、基礎知識のレクチャーを受けてから、提示されたテーマに合わせてアイデア出し→2頁のネーム（マンガのための絵コンテ）作り→マンガ原稿用紙に下描き、までの制作を行います。制作途中で随時教員のアドバイスを受けることができますので、初心者は一からのノウハウを、経験者はスキルアップのためのポイントを学ぶことができます。ストーリーマンガコースの学びの特徴である「マンガ業界人（マンガ家・編集者）によるきめ細やかな個別指導」を是非体験してみてください。</p>	<p><b>評価のポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マンガ制作へ臨む姿勢</li> <li>・ 個別指導の受け止め方、アドバイスの活かし方などの本人の対応と制作意識 ※言語読解力を含める</li> <li>・ 制作した作品の内容（アイデア力・構成力・画力などを総合的に判断）</li> </ul>
<p><b>持参物</b></p> <p>筆記用具…黒色のシャープペンシル又は鉛筆、消しゴムのみ  ※鉛筆使用者は小型の削り具の使用可  ※筆記具の濃さは HB ～ 2 B のものとする  ※色芯・色鉛筆の使用不可  ※ノートやメモ類の持参不可</p>	

マンガ学部 新世代マンガコース	体験授業で取り組むこと <b>制作</b> <b>レクチャー</b>
<p><b>テーマ・内容</b></p> <p>SNS 向け短編マンガを描こう</p> <p>インターネットの普及により、ちょっとした合間にスマートフォンを開いて SNS に投稿されている短いマンガを読む、というマンガの読まれ方が一般化しました。そんな SNS に向けた、短編マンガを描くために必要な知識と技術をレクチャーします。その後で与えられたキーワードからストーリーを発想して、4 ページのマンガ作品を制作します。授業の後半では課題を回収して教員が作品の講評をします。同じキーワードでも人によって捉える視点が違うということ、SNS で多くの人の心を捉えるマンガはどのような傾向にあるかということを理解してもらおうがこの授業の狙いです。</p>	<p><b>評価のポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【基礎力】マンガの基本的な文法を理解しているか</li> <li>【構成力】ストーリーが上手くまとめられているか</li> <li>【画力】世界観を表現するための画力を持っているか</li> <li>【演出力】効果的なコマ割りで見せるべきところをしっかりと見せられているか</li> </ul>
<p><b>持参物</b></p> <p>筆記用具（鉛筆やシャープペンシル、消しゴム）、メモを取るためのノート、直定規（三角定規も可）。</p>	

## テーマ・内容

## キャラクターデザインの意義を理解し、オリジナルキャラクターを描こう

「キャラクターデザインとは何か」をテーマとした教員によるレクチャーの後、文章で与えられた要題の絵を描く課題があります。その中で、キャラクターはどういうふう to 活躍できるのかを考えて、A6 サイズで 2～4 枚のラフ案を描いてみてください。その後、ラフの中から一点を選んで、A4 一枚のイラストをカラーで仕上げましょう。これらの体験授業を通じて、キャラクターデザインとは何だろうか？を考えながら、あなたが考えるキャラクターの可能性について考えましょう。

## 評価のポイント

- ・画力／発想力があるか
- ・コースの教育目的「キャラクターの見た目と中身を両方デザインする」、「よく観察して楽しんで描く」、「常に新しいものを取り入れ、常識にとらわれない」を理解して実践したか

## 持参物

鉛筆、シャープペンシル、消しゴム（練り消しゴム含む）、メモを取るためのノート、着彩用具（色鉛筆、水彩絵の具、アクリル絵の具、パステル、マーカー、筆、筆洗、パレットなど）

## テーマ・内容

## アニメーション制作の基礎となる発想力を活かし、イメージをイラストにしよう

アニメーション作品制作に必要な「発想力と表現力」に重点をおいた課題作成ワークショップを行います。与えられたテーマ（簡単な言葉）から自由に発想し、あなたのアイデアや世界観をイラストと文章（作文）として表現してもらいます。この課題制作では、皆さんがどれだけの発想力を持ち、それを絵や文章で表現できるかを見ます。制作した作品について、教員のアドバイスや、意見を聞いたりする機会もあります。自分自身がわくわくするようなイラストを描いてみましょう。

## 評価のポイント

- ・あなた独自の発想やアイデアを基に、人をアツと言わせるような着想で課題制作に取り組んだか
- ・積極的にワークショップに参加することができたか
- ・アニメーションの基礎となる発想力や表現力を深めることができたか

## 持参物

鉛筆、シャープペンシル、消しゴム（練り消しゴム含む）、着彩用具（色鉛筆、水彩絵の具、アクリル絵の具、パステル、マーカー、筆、筆洗、パレットなど）。※事前に作成した発想ノートやメモ類、色見本の持参は不可とします。

# プレゼンテーション型 オンライン方式

プレゼンテーション型オンライン方式は、あらかじめ指定された出題内容にもとづいて、発表計画書を作成し、それをもとにプレゼンテーションを行う試験です。

### この受験型を選択できる学部

国際文化	メディア表現	人間環境デザイン	芸術	デザイン	マンガ
○	○	○			

### この受験型を選択できる入試種別

総合1期	総合2期	学校推薦	一般1期	一般2期	一般3期	共通テ	留学1期	留学2期
	○							

### 志願者に求める力

知識・理解・技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
○	○	○

## 出題内容

<b>発表計画書 (事前提出)</b>	<p>現在の社会問題の中で、あなたが興味や関心を持っていることを1つ取り上げ、 ①社会問題の内容 ②関心をもった理由 ③社会問題について、あなたが考えたことや学んだことを指定された文字数で記述して下さい。</p> <p><b>【指定文字数】</b>                  人文学科・グローバルスタディーズ学科：800字以内                  人間環境デザインプログラム：800字以内                  メディア表現学科：1200字以内</p>	配点：50点
<b>プレゼンテーション</b>	<p>出願時に提出する発表計画をもとにプレゼンテーションをし、いくつかの質問に回答してください。プレゼンテーションの制限時間は5分です。発表形式は自由です。</p> <p>※試験の所要時間は、受験票の提示や、録画した回答の確認などを含め、30～60分程度です。</p>	配点：200点

## 評価のポイント

<b>人文学科</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会問題に関して自分なりに理解できているか</li> <li>・自分がなぜ関心を持ったかという問題意識がきちんと表現されているか</li> <li>・考えたことや学んだことがわかりやすく示されているか</li> </ul>
<b>グローバルスタディーズ学科</b>	
<b>人間環境デザインプログラム</b>	
<b>メディア表現学科</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[発表計画] 根拠や理由も添えて社会問題の指摘がされ、自分の意見を添えて調べたことがまとめられ、解決に向けて具体的な提案があるか</li> <li>・[プレゼンテーション]</li> <li>(説明の合理性) 筋道を立てて自分の考えを述べ、説明に説得力があるか</li> <li>(話し方) 自分の言葉で適切な速さで話しているか</li> <li>(非言語) 適切な目線や表情、声の抑揚、ジェスチャーなどがあるか</li> <li>(補助資料) 効果的に補助資料を使用しているか</li> </ul> <p>※補助資料は、紙、パソコンやタブレットの画面に表示される画像や動画のほかに、絵や彫刻、立体物、身体表現などメディア表現全般を含む</p>

## 併願について

この受験型では、2つの学科・コースまで併願することができます。その場合は、**それぞれの志望先に対して発表計画書とオンラインプレゼンテーションを提出してください。**

# 面接型 オンライン方式

面接型オンライン方式では、あなたのこれまでの活動や経験を通じて身につけたことや、大学で学びたいこと等の質問に回答する試験です。面接は録画形式で行われます。自己アピールのために、作品、活動の様子を収めた写真、資料などを提示することができます。

## この受験型を選択できる学部

国際文化	メディア表現	人間環境 デザイン	芸術	デザイン	マンガ
○	○	○	○	○	○

## この受験型を選択できる入試種別

総合1期	総合2期	学校推薦	一般1期	一般2期	一般3期	共通テ	留学1期	留学2期
		○	○		○		○	○

## 志願者に求める力

知識・理解・技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
○	○	○

## 出題内容

自己推薦書 (事前提出)	あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度(上限1200字)で記述してください。		
学びの計画書 (事前提出)	国際文化学部	あなたは国際文化学部でどのようなことが学びたいですか。その理由とともに述べてください。また、大学で学んだことはどのようにあなたの将来につながるか、自由に考えて、800字～1200字で記述してください。その際、本学ウェブサイトの学部紹介ページ( <a href="https://www.kyoto-seika.ac.jp/edu/culture/">https://www.kyoto-seika.ac.jp/edu/culture/</a> )に目を通してください。	配点：40点
	メディア表現学部	あなたの志望する学科・コースで、在学中に学びたいことやチャレンジしたいことについて、その内容と理由について、800字程度(上限1200字)で記述してください。	
	人間環境デザインプログラム		
	芸術学部		
	デザイン学部		
マンガ学部	あなたが志望するコースを受験しようと思った「きっかけ」となった作品または作家について、どこに惹かれたかを述べた上で、それを踏まえて、大学4年間で何を学びたいのかを800字～1200字で記述してください。 ※作品・作家は複数でも構いません		
面接	録画形式の面接により、将来の目標や本学で学びたいこと、これまでの活動や経験の中で学んだこと等について複数の質問をしますので、回答を録画してください。自己アピールのために、これまでの活動の写真、制作物、書類などを提示することができます。 ※試験の所要時間は、受験票の提示や、録画した回答の確認などを含め、30～60分程度です。 ※芸術学部・デザイン学部・マンガ学部では、これまでに制作した作品の提示を求める質問があります。		配点：160点

## 評価のポイント

志望する学科・コースの学びへの関心、これまでの活動・経験や、趣味・特技などについての回答と、これまでの実績を通じて、意欲、主体性、思考力、表現力などを総合的に評価します。

## 併願について

この受験型では、**第1志望の学科・コースのみ**を選択することができます。

# オンライン方式の入試について

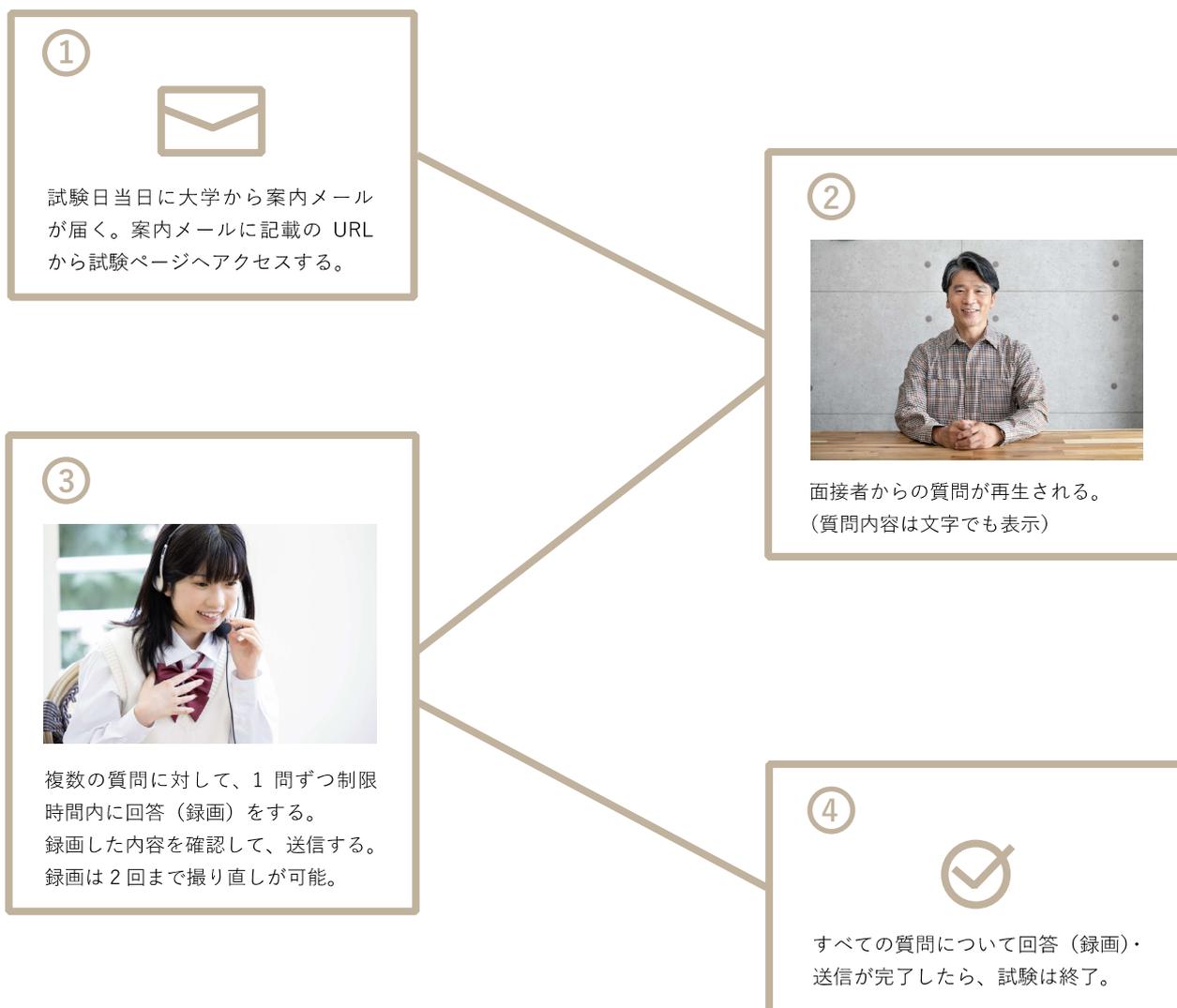


オンライン方式の入試とは、インターネット接続環境とスマートフォンやパソコンなどの機器を用意すれば、国内・海外のどこからでも受験ができる入試のことです。本学では面接型とプレゼンテーション型において、オンライン方式で実施します。

この試験では、質問への回答を自分で録画し、送信してもらいます。

## 試験の流れ

オンライン方式の入試は、大学から送信されるメールを受け取り、試験ページへアクセスすることで開始します。面接者による複数の質問が動画で再生されますので、1問ずつ制限時間内に回答（録画）してください。すべての質問に回答したら試験は完了です。試験の流れは、面接型・プレゼンテーション型ともに同じです。



## 必要な機器・環境

受験にはスマートフォン、タブレット、パソコン（カメラ、マイク、スピーカーが付いていること）のいずれかの機器が必要になります。録画をする際に画面がブレないように、スタンドなどを利用して機器を固定してください。また、受験時に本人確認を行いますので、事前に受験票を印刷しておいてください。

## 受験する場所・服装

受験者以外の者がいない部屋で、騒音や障害物が無く、十分に明るい環境で受験してください（公園、インターネットカフェ、レストランなどは不可）。また、受験票の写真と本人を照合しますので、帽子やサングラス等の顔が隠れるものは身に付けしないでください。

## 自己アピールのための資料提示

<b>プレゼンテーション型</b>	プレゼンテーションでは、資料、作品、身体表現などを用いて自由に発表をすることができます。提示する資料などは、カメラで写せるものであれば、映像や立体物などの形態は問いません。ただし、画面の共有やデータファイルの送信はできません。
<b>面接型</b>	面接では質問に対して、自己アピールのために、これまでの活動の写真、作品、資料などを提示して回答することができます。提示する資料などは、カメラで写せるものであれば、映像や立体物などの形式は問いません。ただし、画面の共有やデータファイルの送信はできません。  芸術学部・デザイン学部・マンガ学部では、質問の中に、これまでに制作した作品の提示を求める質問があります。提示する作品の形式は問いませんが、カメラに映せるものに限ります。動画作品の場合は、再生のための機器を準備し、再生映像をカメラに映してください。オンライン面接時に画面やファイルを共有することはできませんので、事前にポートフォリオにまとめる等して、面接時に提示できるように準備をしておいてください。

## オンライン方式入試の練習

オンライン方式の入試は、練習用の質問（実際の入試での質問とは異なります）を準備しますので、機器の接続確認や回答（録画）が事前に練習できます。練習用サイトは4月下旬に公開予定です。アクセス方法などの詳細は、本学ウェブサイト（入試情報ページ）で案内します。

## 機器や環境が用意できない場合

受験に必要な機器やインターネット環境を自分で準備できない場合は、出願期間中に入学グループに連絡してください。

# 学力型 2科目選択方式

学力型2科目選択方式は、自分の得意な2科目を選択することができる試験です。解答は全科目マークセンス方式です。

英語・国語・数学から2科目選択する方式と、英語・国語・数学・日本史・世界史から2科目を選択する方式があります。**入試種別・学部ごとの選択できる科目はP24を確認してください。**

### この受験型を選択できる学部

国際文化	メディア表現	人間環境 デザイン	芸術	デザイン	マンガ
○	○	○	○	○	○

### この受験型を選択できる入試種別

総合1期	総合2期	学校推薦	一般1期	一般2期	一般3期	共通テ	留学1期	留学2期
		○	○	○			○	○

### 志願者に求める力

知識・理解・技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
○	○	

## 出題内容

科目	出題範囲・評価のポイント	時間	配点
英語	「コミュニケーション英語Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「英語表現Ⅰ」を出題範囲として、500字～700字程度の英文読解力をはじめ、3000語レベルの語彙力、文法・語法に至る英語の総合力を測ります。また、英語資格・検定試験のスコアを利用することができます。詳しくはP24を確認してください。	120分	1科目100点 200点満点
国語	「国語総合(古文・漢文を除く)」「現代文B」を出題範囲として、社会・文化・歴史などの分野について書かれた評論文・随筆を中心にとりあげます。基本的な漢字・語彙をはじめ、重要語・接続詞などに留意しながら筆者の主張を読み取る問題に至る国語の基礎力を測ります。 ※「思考力・判断力・表現力」を評価するために記述式の設問を含みます。		
数学	「数学Ⅰ」「数学A」を出題範囲として、幅広く数学の基礎的な力を測ります。		
日本史 ※	「日本史B」を出題範囲として、用語や年代をはじめ、時代ごとの出来事や制度、時代背景、前後関係などの日本史の基本的な知識を測ります。		
世界史 ※	「世界史B」を出題範囲として、特定のテーマや地域に限定することなく、用語、歴史の変遷、地理的な理解などの世界史の基本的な知識を測ります。		

※一般選抜1期(2月4日)、外国人留学生入試2期(2月4日)のみ選択可

## 試験で使用できる物

黒鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック製消しゴム。それ以外の使用は認めません。

## 科目の選択について

入試種別	学校推薦型選抜 [ 公募制 ]	一般選抜 1 期		一般選抜 2 期
	外国人留学生入試 1 期	外国人留学生入試 2 期		
科目の選択	英・国・数から 2 科目選択	英・国・数から 2 科目選択	英・国・数・日・世から 2 科目選択	英・国・数から 2 科目選択
国際文化学部	○	○	○	○
メディア表現学部	○	○	○	○
人間環境 デザインプログラム	○	○	○	○
芸術学部	○		○	
デザイン学部	○		○	
マンガ学部	○		○	

## 英語資格・検定試験のスコア利用について

本学が指定する英語の資格・検定試験のスコアを学力試験「英語」の得点にみなして下記の通り換算します。この制度を利用する場合でも、本学の「英語」を受験することができます。その場合は、どちらか高得点のものを採用して判定を行います。

みなし得点	CEFR	英検 2 級又は 2 級以上受験 CSE2.0	TOEIC L&R+S&W	TOEFL iBT	GTEC 4 技能	IELTS アカデミック モジュール	TEAP 4 技能	TEAP CBT	ケンブリッジ 英語検定
100 点	B2	2,300 ~	1,560 ~	72 ~	1,190 ~	5.5	309 ~	600 ~	160 ~
90 点	Upper B2	2,150 ~	1,360 ~	57 ~	1,080 ~	4.5	270 ~	510 ~	150 ~
80 点	Lower B2	1,950 ~	1,150 ~	42 ~	960 ~	4.0	225 ~	420 ~	140 ~

- ・ CEFR とは Common European Framework of Reference for Languages（ヨーロッパ言語共通参照枠）およびそれが示す到達目標を指します
- ・ 英検は 2 級または 2 級以上を受験して、指定のスコア以上を取得することが採用条件となります
- ・ TOEIC L&R スコアに TOEIC S&W スコアを 2.5 倍して合算したスコア
- ・ TOEFL-iBT は Test Date スコアを採用します（My Best スコアは採用しません）
- ・ GTEC については、Basic と Core は対象とせず、Advanced と CBT に限ります
- ・ TEAP を利用する場合、全 3 回の試験での技能ごとの最高点を採用するのではなく、1 回のみ点数を採用します
- ・ 資格の有効期限は、取得日が 2023 年 4 月 1 日から遡って 3 年以内であるものに限り（スコアに有効期限がある場合は 2023 年 4 月 1 日時点で有効であること）

# 小論文型

小論文型は、課題文を読み解いて、自分の意見を 600～800 字程度で論述する試験です。**入試種別によって実施する学部が異なりますので、下表を確認してください。**

### この受験型を選択できる学部

国際文化	メディア表現	人間環境 デザイン	芸術	デザイン	マンガ
○	○	○	○	○	○

### この受験型を選択できる入試種別

総合1期	総合2期	学校推薦	一般1期	一般2期	一般3期	共通テ	留学1期	留学2期
		○	○				○	○

### 志願者に求める力

知識・理解・技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
○	○	

## 出題内容

科目	出題内容・評価のポイント	時間	配点
小論文	課題文を読み解き、自分の意見を 600～800 字程度で論述してください。課題文を正しく理解しているか、自分の意見を読者に伝えるために言葉を適正に使っているか、記述は論理的に展開されているか等を測ります。	90 分	200 点

## 試験で使用できる物

黒鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック製消しゴム。それ以外の使用は認めません。

## 入試種別ごとの実施学部について

入試種別	学校推薦型選抜 [ 公募制 ]	一般選抜 1 期
	外国人留学生入試 1 期	外国人留学生入試 2 期
国際文化学部	○	○
メディア表現学部	○	○
人間環境 デザインプログラム	○	○
芸術学部	○	
デザイン学部	○	
マンガ学部	○	

# 大学入学共通テスト利用方式

大学入学共通テスト利用方式は、令和 5 年（2023 年）度の大学入学共通テストの成績の中から、高得点の 2 教科・2 科目によって判定する試験です。本学が指定する教科・科目は下記の通りです。

## この受験型を選択できる学部

国際文化	メディア表現	人間環境 デザイン	芸術	デザイン	マンガ
○	○	○	○	○	○

## この受験型を選択できる入試種別

総合1期	総合2期	学校推薦	一般1期	一般2期	一般3期	共通テ	留学1期	留学2期
						○		

## 志願者に求める力

知識・理解・技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
○	○	

## 本学が指定する大学入学共通テストの教科・科目

教科	グループ	科目	配点
国語		「国語」（近代以降の文章） ※古典（古文、漢文）の得点は扱いません	1 科目 100 点 200 点満点
地理歴史 公民		「世界史 A」「世界史 B」「日本史 A」「日本史 B」「地理 A」「地理 B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	
数学	①	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・A」	
	②	「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	
理科	①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」 ※選択した 2 科目（計 100 点）を 1 科目として扱います	
	②	「物理」「化学」「生物」「地学」	
外国語		「英語（リスニングテストを含む）」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 ※「英語」のリーディングとリスニングの配点は 1：1 として、合計を 100 点満点に換算します	

## 入試日程ごとの違いについて

大学入学共通テスト利用方式は、入試日程ごとに出願できる学部が異なります。

学部	1 期	2 期	3 期
国際文化学部	○	○	○
メディア表現学部			
人間環境 デザインプログラム			
芸術学部	○		
デザイン学部			
マンガ学部			

# 実技型 鉛筆デッサン

実技型鉛筆デッサンは、芸術学部、デザイン学部、マンガ学部の志願者を対象にしています。試験当日に配布される2種類のモチーフを自分で机の上に配置して、鉛筆で描写する試験です。

### この受験型を選択できる学部

国際文化	メディア表現	人間環境 学デザイン	芸術	デザイン	マンガ
			○	○	○

### この受験型を選択できる入試種別

総合1期	総合2期	学校推薦	一般1期	一般2期	一般3期	共通テ	留学1期	留学2期
		○	○				○	○

### 志願者に求める力

知識・理解・技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
○	○	

## 出題内容

科目	出題内容	時間	配点
鉛筆デッサン	2種類のモチーフを机の上に配置して、鉛筆で描写してください。 支給物：モチーフ、画用紙（B3） 制作条件：出題内容によっては、制作条件が指示されます。	180分	200点

## 評価のポイント

定型物の形や比率の正確さ、各モチーフ間の大きさのバランスがとれているか。立体感や重量感、質感や色の違いが表現できているか。各モチーフの特徴を活かした画面構成となっているか、また、モチーフによって作り出される奥行き、空気感、差し込む光、絵としての世界観を意識しているかを主に評価します。

## 試験で使用できる用具

試験で使用できる用具は、黒鉛筆（シャープペンシルを含む）、鉛筆削り（手動式・小型のものに限る）、消しゴム（練り消しゴムを含む）、画板（カルトン）、クリップ、羽ぼうき（製図用ブラシを含む）、デッサン用スケール、はかり棒、擦筆とします。それ以外の使用は認めません。

## 過去の出題内容と合格参考作品

出題例として、過去の入試の出題内容を紹介します。本学ウェブサイト（入試情報ページ）ではさらに詳しい情報を掲載しています。



モチーフ ・ ガラス容器（ふた付） 1個  
・ パスタ

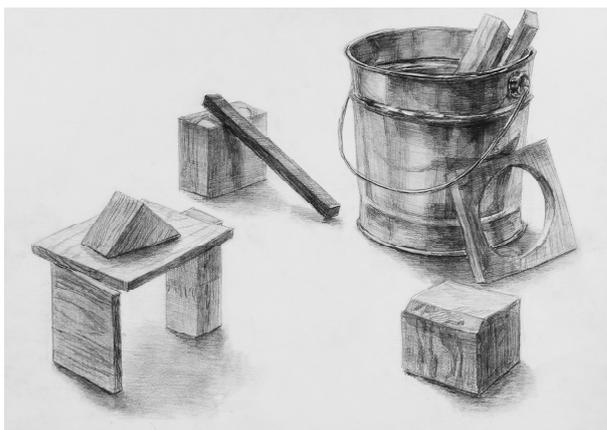


合格参考作品（2022年度入試より）

- 制作条件
- ・モチーフは2種とも描写すること。
  - ・パスタを描く個数は自由とする。
  - ・パスタの加工は自由とする。
  - ・画用紙は、縦位置 / 横位置のいずれに使用してもよい。



モチーフ ・ ペール缶 1個  
・ 木片



合格参考作品（2022年度入試より）

- 制作条件
- ・モチーフは2種とも描写すること。
  - ・木片を描く個数は自由とする。
  - ・画用紙は、縦位置 / 横位置のいずれに使用してもよい。

# 実技型 イメージ表現

実技型イメージ表現は、芸術学部、デザイン学部、マンガ学部の志願者を対象にしています。試験当日に配布される画用紙に印刷された図形をもとに発想される世界を、絵と文章で表現する試験です。

### この受験型を選択できる学部

国際文化	メディア表現	人間環境 デザイン	芸術	デザイン	マンガ
			○	○	○

### この受験型を選択できる入試種別

総合1期	総合2期	学校推薦	一般1期	一般2期	一般3期	共通テ	留学1期	留学2期
		○	○				○	○

### 志願者に求める力

知識・理解・技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
○	○	

## 出題内容

科目	出題内容	時間	配点
イメージ表現	画用紙（解答用紙）に印刷された図形から発想される世界を絵と文章で表現してください。 支給物：画用紙（B4）、作文用紙（B5）、アイデアスケッチ用紙（A4） 制作条件：作文は試験時間内に作成し、1枚の作文用紙に収めること	180分	200点

## 評価のポイント

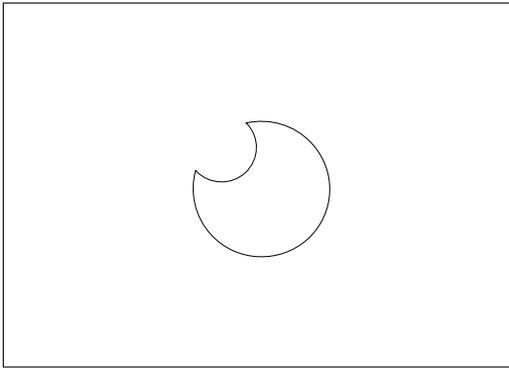
この試験では、与えられた図形からの「発想力」、発想を他者に伝える「表現力」、自分の表現をひとつの作品としてまとめる「構成力」と「世界観」を評価します。なお、アイデアスケッチ用紙は評価の対象としません。

## 試験で使用できる用具

試験で使用できる用具は、黒鉛筆（シャープペンシルを含む）、鉛筆削り（手動式・小型のものに限る）、消しゴム（練り消しゴムを含む）、画板（カルトン）、クリップ、水溶性絵具（アクリルガッシュ、ポスターカラーなどに限る）、色鉛筆、サインペン、マーカー、筆、筆洗、パレットとします。それ以外の使用は認めません。

## 過去の出題内容と合格参考作品

出題例として、過去の入試の出題内容を紹介します。本学ウェブサイト（入試情報ページ）ではさらに詳しい情報を掲載しています。

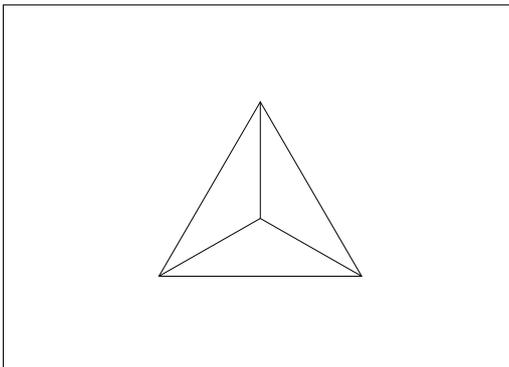


図形 上記の通り

- 制作条件
- ・画用紙は、縦位置 / 横位置のいずれに使用してもよい。
  - ・作文の文字数に関する条件指定はありません。ただし、1枚の作文用紙のなかで文章表現してください。



合格参考作品（2022年度入試より）



図形 上記の通り

- 制作条件
- ・画用紙は、縦位置 / 横位置のいずれに使用してもよい。
  - ・作文の文字数に関する条件指定はありません。ただし、1枚の作文用紙のなかで文章表現してください。



合格参考作品（2022年度入試より）

# 出願資格

本学には国内学生と外国人留学生の出願区分があり、それぞれに出願資格を設けています。出願にあたっては、2023年度入試の出願資格を確認のうえ手続を行ってください。

<b>国内学生として 出願する</b>	日本国籍者（重国籍者を含む）または、入学に際して「留学」以外の適切な在留資格を有する見込みの外国籍者 在留資格が「定住者」「家族滞在」等の者、特別永住者証明書を持つ者は、国内学生として出願してください。
<b>外国人留学生として出願する</b>	入学に際して「留学」の在留資格を有する見込みの外国籍者、および日本国籍を含まない重国籍者

## 国内学生の出願資格

2023年4月1日時点で下記のすべての条件を満たすことが必要です。

<b>年齢</b>	18歳以上の者、もしくは18歳未満でも文部科学省の定める大学入学資格を有する者	
<b>学歴</b>	総合型選抜 一般選抜 大学入学共通 テスト利用入試	次のいずれかに該当する者 (1) 日本国内の高等学校または中等教育学校後期課程を卒業した者 (2) 特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次を修了した者 (3) 高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した者 (4) 国を問わず、一以上の国の学校教育制度に基づく通算12年以上の教育課程を修了した者 (5) 上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者 ※文部科学省ウェブサイト「大学入学資格について」をご確認ください (6) 本学において個別の入学資格審査により(1)～(5)と同等の資格があると認められた18歳以上の者
	学校推薦型選抜 [公募制]	日本国内の高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部等の学校長による推薦を受けた者（2022年4月以降に発行された推薦書に限ります） [調査書の点数化について] 調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）を10倍した値（小数点第一位を四捨五入）を50点満点で点数化します。 ※出願にあたり、調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）の制限はありません。

## 外国人留学生の出願資格

本学では、入学に際して「留学」の在留資格を持つ方を外国人留学生として受け入れており、受験時や入学後に外国人留学生を対象とした奨学金や授業料減免制度に申請することができます。

2023年4月1日時点で下記のすべての条件を満たす必要があります。

年齢	18歳以上の者、もしくは18歳未満でも文部科学省の定める大学入学資格を有する者
学歴	<p>次のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 国を問わず、一以上の国の学校教育制度に基づく通算12年以上の教育課程を修了した者</p> <p>(2) 各国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者</p> <p>(3) 国際バカロレア (Diploma 取得要 /Course Results のみ不可)、GCEA レベル (E 評価以上 /2 科目以上)、アビトゥア (ドイツ)、バカロレア (フランス) のいずれかを保有する者</p> <p>(4) 国際的な評価団体 (WASC、CIS、ACSI) の認定を受けた教育施設の12年以上の課程を修了した者</p> <p>(5) 日本国内の高等学校または中等教育学校後期課程を卒業した者</p> <p>(6) 上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者 ※文部科学省ウェブサイト「大学入学資格について」をご確認ください</p> <p>(7) 本学において個別の入学資格審査により (1)～(6) と同等の資格があると認めた18歳以上の者</p>
日本語能力	<p><b>出願時点で、</b> 次のいずれかに該当する者</p> <p>(1) JLPT (日本語能力試験) N2 レベル以上 ※2010年以降に実施された試験であること</p> <p>(2) EJU (日本留学試験) 「日本語」科目において [ 読解 ]/[ 聴解・聴読解 ] の合計が220点以上、および [ 記述 ] が25点以上</p> <p>(3) JPT (日本語能力試験) 525点以上</p> <p>(4) J.TEST (実用日本語検定) A～C レベル 600点以上</p> <p>(5) BJT (ビジネス日本語能力テスト) 420点以上</p>
日本での学修状況	<p>「留学」の在留資格を持つ者は、<b>出願時点で在学する日本の学校の通算出席率が90%以上</b>であること</p> <p>※在籍する日本の学校が、出席状況を証明する書類を発行しない場合は、入学グループまでお問い合わせください。</p>
在留資格	<p>出願時点で「留学」の在留資格を持っているかによって、出願できる入試種別が異なります。P10を確認してください。</p>

# インターネット出願について

本学ではインターネットで出願を受付けています。出願手続きにあたっては、インターネット接続環境と、スマートフォン、タブレット、パソコン等の機器を用意してください。  
もし、インターネット接続環境や機器を自分で準備できない場合は、出願期間中に入学グループに連絡してください。  
インターネットでの出願申込が済んだら、出願書類の送付と、入学検定料の納入を行ってください。以上の手続きを行うことによって、出願の受付が完了します。



<p><b>インターネットでのエントリー・出願</b></p>	<p>本学の「インターネット出願ページ」にアクセスして、「マイページ」を登録し、出願する入試種別、志望する学科・コース、受験型などの情報を入力します。</p>
<p><b>出願書類の送付</b></p>	<p>高等学校の卒業証明書や調査書などの出願書類を本学に送付する必要があります。出願する入試種別によって必要な書類は異なります。詳しくは2022年7月に発行予定の『京都精華大学入試要項2023』を確認してください。</p>
<p><b>入学検定料の納入</b></p>	<p>出願には入学検定料が必要になります。納入方法は、クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、ATM（Pay-easy対応）の中から選択することができます。詳しくは『京都精華大学入試要項2023』を確認してください。 ※総合型選抜1期（体験授業）のエントリー時は無料です</p>
<p><b>受験票の印刷</b></p>	<p>受験票は「マイページ」でダウンロードして印刷し、試験日に持参してください。 ※総合型選抜1期（体験授業）では参加票といいます</p>

## インターネット出願ページについて

「インターネット出願ページ」には、出願の手順、操作方法、出願に必要な各種の様式のダウンロードなどを掲載しています。

公開予定日は、2022年8月下旬の予定です。



インターネット出願ページ



マイページ

# マイページの登録

エントリー・出願をするためには、まず「マイページ」で個人情報の登録から始めてください。登録にはメールアドレスが必要です。個人情報と顔写真の登録が完了し、各入試種別の出願期間になれば、エントリー・出願に進むことができます。



氏名、住所、メールアドレス、出身学校名等の入力

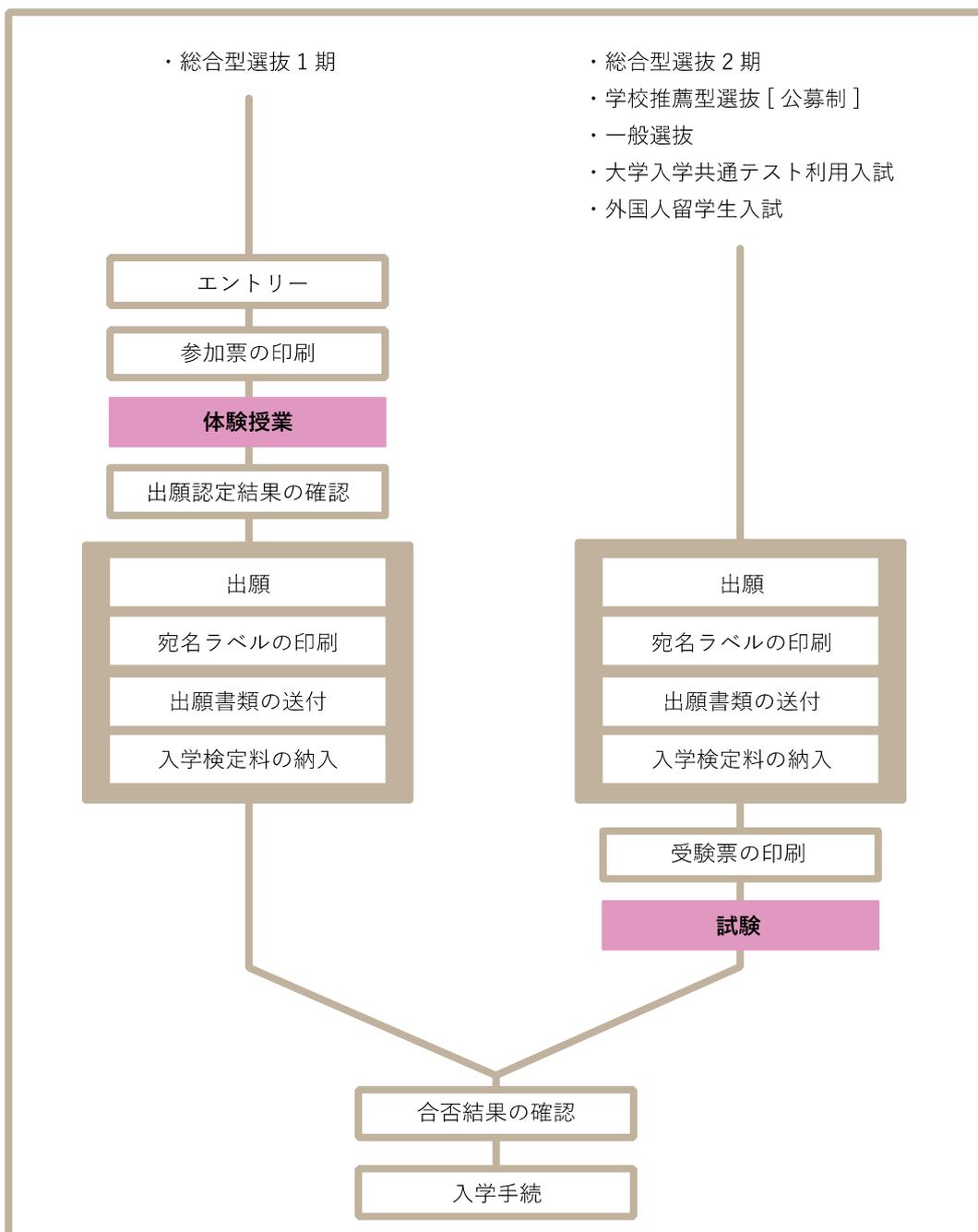
---

受験票のための顔写真の登録

---

国内学生・留学生の選択

---



# エントリー・出願方法

エントリー・出願をするためには、志望する学科・コース、受験する日程、受験型を選択する必要があります。

志望する学科・コースを選ぶ	入学を志望する学科・コースを選択してください。第2志望まで選択が可能です。(面接型試験は除く)	募集人員 P05～06
受験する日程を選ぶ	2022年9月から2023年3月までの期間に実施する入試の中から、出願する入試種別を選択してください。募集人員や、選択できる試験科目については、入試種別ごとに異なります。	2023年度入試日程 P07～08
受験型を選ぶ	入試種別ごとに、体験授業型、学力型、実技型、面接型などの受験型を設けています。自分の得意な受験型を選択することができます。	受験型一覧 国内学生 P09 外国人留学生 P10

## 入学検定料

出願には入学検定料が必要です。入試種別や受験型の選択によって、料金は異なります。

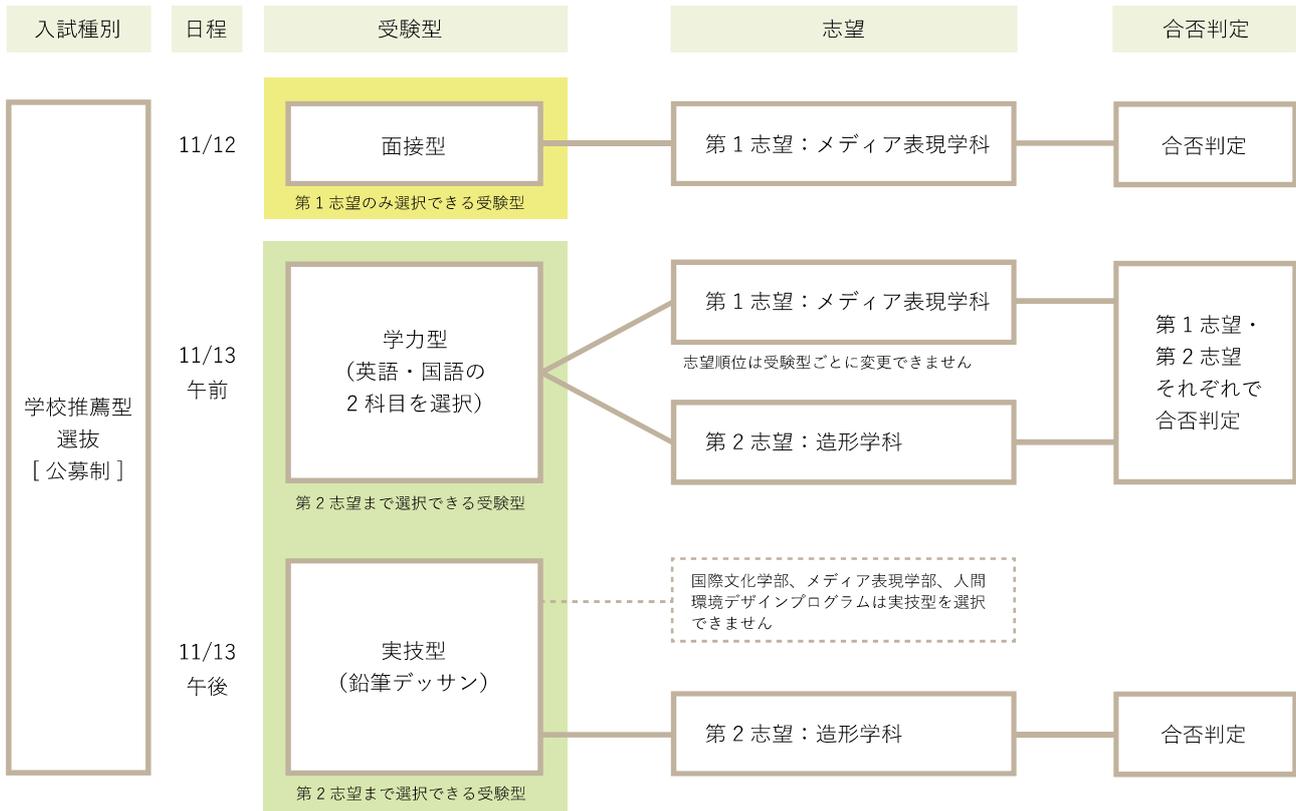
入試種別	入学検定料		併願料
総合型選抜1期	エントリー時は <b>0円</b> 体験授業に参加した後、出願認定が可となり、 出願する際には <b>30,000円</b> が必要になります		<b>0円</b>
総合型選抜2期	<b>30,000円</b>		
学校推薦型選抜[公募制] 一般選抜 外国人留学生入試	<b>30,000円</b>	受験型を1つ追加 ごとに <b>+10,000円</b>	
大学入学共通テスト利用入試	<b>10,000円</b>		<b>+5,000円</b>

## 他大学との併願について

総合型選抜1期などの専願入試を除いて、本学と他大学との併願が認められます。なお、総合型選抜1期の体験授業に参加(エントリー)するまでは、他大学との併願が可能です。

## 受験型の選択方法の例

ここでは受験型の選択方法について例を紹介します。下記の例では、学校推薦型選抜[公募制]において、第1志望をメディア表現学部メディア表現学科、第2志望を芸術学部造形学科として、3つの受験型（面接型、学力型、実技型）を選択しています。



この例の場合、入学検定料は下記の通りです。

志望学科・コース		併願料	選択した試験型	入学検定料
第1志望	メディア表現学科	—	面接型	30,000円
			学力型（英語・国語）	10,000円
第2志望	造形学科	0円	実技型（鉛筆デッサン）	10,000円
			学力型（英語・国語）	0円
合計		0円	合計	50,000円

# 入学金・学費

年間授業料	国際文化学部	メディア表現学部	芸術学部	デザイン学部 マンガ学部 人間環境デザインプログラム
年間授業料	1,086,000 円	1,186,000 円	1,550,000 円	1,579,000 円
1 クォーターごとの授業料 ※授業料は4回に分けての納入となります	271,500 円	296,500 円	387,500 円	394,750 円

初年度納入金	1,336,000 円	1,436,000 円	1,800,000 円	1,829,000 円
--------	-------------	-------------	-------------	-------------

入学時納付金	国際文化学部	メディア表現学部	芸術学部	デザイン学部 マンガ学部 人間環境デザインプログラム
入学時納付金	521,500 円	546,500 円	637,500 円	644,750 円
内訳	入学金	200,000 円		
	授業料（第1クォーター分）	271,500 円	296,500 円	387,500 円
	同窓会費（終身会費）	10,000 円		
	教育後援会費（4年分）	40,000 円		

※外国人留学生は上記に加え、入学手続き時に「留学生総合保障制度加入費」13,660 円（4年分）が必要です。  
（本学に在籍する外国人留学生のための保険。金額は2022年度実績です。2023年度は加入費が変更する場合があります。）

## ノートパソコン等の購入について

入学予定者に対しては、オンライン講義の受講や専門科目における課題制作等のために、入学前に各自でノートパソコン等の購入をお願いする予定です。指定のモデルや購入金額、購入時期等については、学科・コースごとに異なります。詳細については合格者に案内します。

## 入学後の授業料納入について

本学では年間の授業を4期に分けて行うクォーター制を導入しています。入学後の授業料は、クォーターごとに設けられた納入期日までに、それぞれ年間授業料の4分の1の金額を納入します。



# 奨学金

本学では、入学前に利用できる下記の奨学金制度を設けています。

奨学金の名称	金額	対象者	採用人数
<b>国内学生</b> 資格取得特待生	200,000 円 ※入学後の授業料を減免 ※「入学試験成績優秀特待生」 との併給不可	下記いずれかの資格を有する者 1.英検の2級または2級以上を受験して、CSE2.0 1,950 点以上 2.TOEIC L&R+S&W 1,150 点以上 3.TOEFL-iBT 42 点以上 4.GTEC 960 点以上 5.IELTS アカデミックモジュール 4.0 以上 ※資格の有効期限は、取得日が 2023 年 4 月 1 日から遡って 3 年以内であるものに限り ただしスコアに有効期限がある場合は 2023 年 4 月 1 日時 点で有効であること ※TOEFL-iBT® は Test Date スコアを活用するものとし、 My Best™スコアは活用しません	国内学生 上限なし
<b>外国人留学生</b> 私費外国人留学生 EJU 成績優秀特待生	年間授業料の 1/4 の額 ※入学後の授業料を減免 ※「入学試験成績優秀特待生」 との併給不可	総合型選抜 1 期・2 期および、外国人留学生入試 1 期・ 2 期に合格した私費外国人留学生で、日本留学試験 (EJU) において次の成績を収めた者 「日本語」において「聴解・聴読解」、「読解」、「記述 (35 点以上)」の合計が 300 点以上 ※EJU は入学前 2 年以内 (2021 年度以降) に受験した成績 に限り	外国人留学生 15 名
入学試験成績優秀 特待生	年間授業料の 1/4 の額 ※入学後の授業料を減免 ※「資格取得特待生」「私費外 国人留学生 EJU 成績優秀特 待生」との併給不可	一般選抜 1 期・外国人留学生入試 2 期の下記の受 験型において優秀な成績を収めた者 学力型 (2 科目選択)・小論文型・実技型 (鉛筆デッ サン・イメージ表現) ※2023 年度内の他の入試種別で合格した者も出願するこ とができます	国内学生 外国人留学生 合計 15 名

## 国内学生 高等学校の修学支援新制度

「高等教育の修学支援新制度」は、修学意欲がありながらも、経済的な理由により進学が困難な学生の経済的負担の軽減を目的とした、国による支援制度です。この制度には、授業料等の減免と給付型奨学金の2つの制度があり、対象者は2つの支援を同時に受けることができます。支援を受けるためには、まず現在在籍する学校等を通じて日本学生支援機構 (JASSO) 給付型奨学金に申請し、「採用候補者決定通知」の交付を受けることと、本学入学後に所定の手続を行うことが条件となります。詳しくは文部科学省ウェブサイト「高等教育の修学支援新制度」を確認してください。

## 入学後の奨学金

本学では入学後に申請できる各種の奨学金制度 (成績優秀奨学金、海外プログラム学修奨励奨学金、私費外国人留学生大学学費減免等) を設けています。詳しい情報は本学ウェブサイト (学生生活 / 奨学金ページ) を確認してください。

## 2022 年度入試結果

2022 年度入試 (2022 年 4 月入学) における学科ごとの志願者・受験者・合格者数は下記の通りです。

2022 年 3 月時点につき、一般選抜 3 期、大学入学共通テスト 3 期は含みません。

学部・学科			総合 1 期	総合 2 期	学校推薦 [公募制]	一般 1 期	一般 2 期	大学入学共通 テスト 1 期・2 期	外国人留学生 1 期	外国人留学生 2 期	
国際文化学部	人文学科	志願者	46	10	47	67	16	56	5	9	
		受験者	42	9	46	57	14	56	3	8	
		合格者	31	4	39	51	13	51	3	6	
	グローバル スタディーズ学科	志願者	21	8	26	25	4	21	3	6	
		受験者	20	8	26	20	3	21	3	4	
		合格者	14	5	15	16	3	15	2	3	
メディア表現学部	メディア表現学科	志願者	140	27	61	115	31	53	19	15	
		受験者	125	25	61	106	28	53	16	15	
		合格者	71	5	14	19	7	10	5	3	
人間環境デザインプログラム			志願者	9	7	4	8	2	3	1	6
			受験者	8	6	4	7	2	3	1	6
			合格者	3	3	3	1	2	2	1	1
芸術学部	造形学科	志願者	84		99	88	11	33	67	25	
		受験者	72	—	99	82	8	33	64	19	
		合格者	50		51	13	8	9	21	7	
デザイン学部	イラスト学科	志願者	129		40	55	8	20	66	46	
		受験者	119	—	40	49	8	20	60	32	
		合格者	48		5	7	5	3	2	3	
	ビジュアルデザイン学科	志願者	136		115	113	22	48	40	18	
		受験者	120	—	115	107	20	48	38	17	
		合格者	44		7	8	6	4	3	4	
	プロダクトデザイン学科	志願者	82		51	37	10	20	25	9	
		受験者	75	—	50	36	10	20	25	8	
		合格者	46		12	12	10	7	8	5	
	建築学科	志願者	23		35	21	10	13	12	8	
		受験者	17	—	35	19	10	13	11	5	
		合格者	11		18	8	8	4	10	4	
マンガ学部	マンガ学科	志願者	516		109	144	34	52	214	141	
		受験者	476	—	108	137	32	52	178	110	
		合格者	170		14	13	3	6	12	10	
	アニメーション学科	志願者	129		45	60	19	23	68	40	
		受験者	120	—	45	56	17	23	57	33	
		合格者	49		9	2	1	1	6	1	

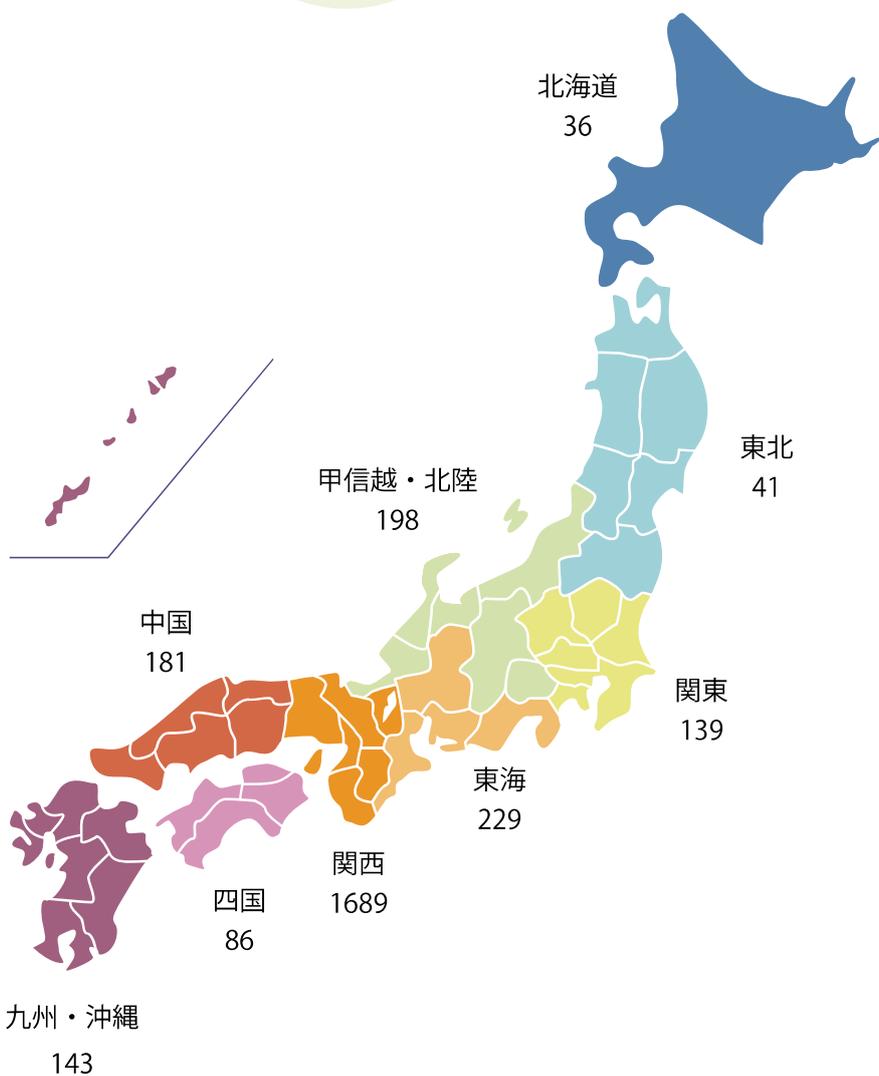
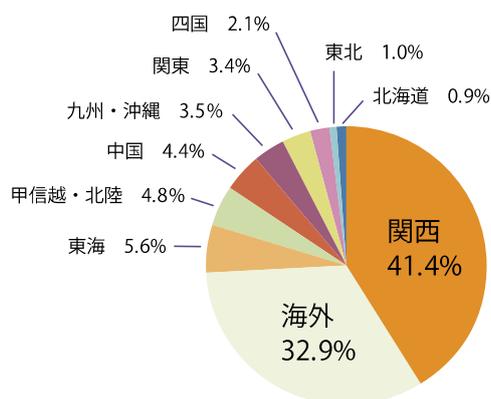
※総合型選抜において、志願者とはエントリー者のことです。また、合格者とは体験授業に参加して認定可を受けて出願し、合格となった者のことです。

※上記の数字には、学内併願、同一学科・コースの複数回受験を含んでいます。

## 地域別志願者数

地域	都道府県	出願数
北海道	北海道	36
東北	岩手県	3
	宮城県	9
	秋田県	3
	山形県	7
	福島県	19
関東	茨城県	7
	栃木県	9
	群馬県	15
	埼玉県	34
	千葉県	15
	東京都	49
	神奈川県	10
	海外	1342
甲信越 北陸	新潟県	26
	富山県	50
	石川県	30
	福井県	43
	山梨県	1
東海	長野県	48
	岐阜県	28
	静岡県	92
関西	愛知県	60
	三重県	49
	滋賀県	286
	京都府	563
	大阪府	399
	兵庫県	314
	奈良県	110
中国	和歌山県	17
	鳥取県	21
	島根県	16
	岡山県	43
	広島県	87
四国	山口県	14
	徳島県	27
	香川県	23
	愛媛県	30
九州 沖縄	高知県	6
	福岡県	41
	佐賀県	25
	長崎県	6
	熊本県	20
	大分県	11
	宮崎県	3
鹿児島県	14	
沖縄県	23	

2022年度入試(2022年4月入学)における地域・都道府県別の志願者数は下記の通りです。



# 京都精華大学へのアクセス

京都精華大学の最寄り駅は、京都市営地下鉄「国際会館駅」からスクールバスで10分、または叡山電車鞍馬線「京都精華大前駅」です。

## アクセスマップ



## 入試に関するお問合せ先

### お問合せ先

入試に関するお問合せは、下記の日時でメール、電話でも受付けています。

**受付日時：月曜日～金曜日 9:00～18:00**（土・日・祝日除く）

**Eメール：nyushi@kyoto-seika.ac.jp**

**電話：075-702-5100**

※事務局休業日（夏季・冬季休業期間など）により、対応ができない場合があります。事務局休業日は本学ウェブサイトにてお知らせします

### 入試情報ページ

入試に関してよくある質問、過去の入試結果、過去問題、実技型試験の合格参考作品などの情報を本学ウェブサイト（入試情報ページ）で公開しています。

入試に関する追加のお知らせが発生した場合は、「入試情報ページ」や「マイページ（P34参照）」でお知らせしますので確認してください。



### 受験にあたっての注意事項

この冊子『京都精華大学入試ガイド 2023』に記載した内容は 2022 年 3 月現在のものです。今後変更される場合がありますので、出願にあたっては 2022 年 7 月発行予定の『京都精華大学入試要項 2023』を必ず確認してください。

この冊子の記載の有無に関わらず、入試について分からないことがあれば、本学入学グループまでお問合せください。

### 個人情報の取扱いについて

本学では、個人情報保護の重要性を認識し、個人情報保護に関する法令を遵守すると共に、適法かつ適正に個人情報を取扱います。志願者であるみなさんの個人情報については、出願処理、試験実施、合格発表、入学手続処理および学籍発生までの入学手続作業、学内における統計的資料作成に使用し、入学手続完了者については、入学後の在学生情報としても使用します。前述の各業務について、本学および当該業務を委託した業者において業務を行うことがありますが、本学が明示する用途のみに使用し、委託業務を超えた利用はありません。あらかじめご了承ください。

## 京都精華大学入試ガイド2023

京都精華大学入学グループ

京都市左京区岩倉木野町 137 番地

TEL : 075-702-5100

E-Mail : [nyushi@kyoto-seika.ac.jp](mailto:nyushi@kyoto-seika.ac.jp)

2022年3月発行